

09夏季一時金の開い 回答要結一覧

(※太字は、未解決または前号掲載時より変化があった職場)

2009年9月8日現在

| | 2009夏季一時金 要求内容 | | 回答・要結状況 |
|--------|----------------|---------------------------------|---|
| 冬夏年間要求 | 羽咋自校 | 年間160万円 | 8/21 寸志 |
| | 能中自校 | 年間160万円 | 未解決 無回答 ※09春闘も未解決 |
| | 林ベニヤ | 年間130万円 | 8/21 09夏季分として 平均111,000円(0.5ヶ月) |
| | サンケン | 年間5ヶ月 | 4/17 09夏季分として 平均402,312円(1.825ヶ月) ※09春闘と同時解決済 |
| | 芝寿し | 総収入の15% | 7/11 7.5~6.25%+α |
| 夏季要求 | 北陸冷蔵 | 2.5ヶ月 | 6/18 平均180,000円(0.896ヶ月) |
| | 市場冷蔵 | 2.5ヶ月 | 7/7 平均285,714円 |
| | 魚市冷蔵 | 2.5ヶ月、備品購入の改善等 | 7/3 平均250,700円(1.167ヶ月) |
| | 丸一石油 | 2.5ヶ月 | 7/21 平均270,000円 |
| | 北国製紙 | 2.5ヶ月、作業用の消耗品の支給 | 未解決 無回答 |
| | 北陸葬祭 | 2.5ヶ月 | 7/14 寸志 |
| | 瀬川様木 | 2.5ヶ月、月給制、退職金制度、消耗品の支給、組合活動の保障等 | 7/10 平均0.85ヶ月 ※09春闘が未解決 |
| 夏冬年間要求 | 天狗中田 | 年間5ヶ月、定年後再雇用制度等 | 7/16 平均880,000円(3.496ヶ月) |
| | 金沢製粉 | 年間5ヶ月、職務・職能給の改定 | 6/16 平均928,235円(4.3ヶ月) |
| | 執行官室 | 年間4ヶ月 | 6/30 09夏季分として 平均286,500円(1.5ヶ月) |
| | 大同テクノ | 年間5ヶ月+20万円 | 5/29 09夏季分として 平均260,000円 ※09春闘と同時解決済 |

※ 北国新聞関連労組、北陸労金労組、全労済労組、連合石川スタッフユニオンは別途要求

いよいよ、地本第八十一回定期大会が今月二十七日に開催されます。私たちは、本年一月の自治労との統合を機に、名称も全国一般石川地方労働組合と改め、この一年、中小零細職場で働く私たちの生活と権利を守るため、職場・地域で闘ってきました。新たな一歩をふみだすために、今大会での活発な討論を呼びかけます。

大量解雇・賃下げ・組織破壊攻撃に 立ち向かう団結強化を 地本第81回定期大会を 成功させよう!



2009年
9月 8日
No. 891

全国一般石川地方
労働組合 教宣部
金沢市駅西本町3-13-5
TEL 076 (262) 0724
発行人 荒木宗昭

九月二十七日(日) 九時開場 労済会館ホール 地本第81回定期大会

この大会で、本年度の地本運動をふりかえり、秋年末闘争、一〇春闘、組織拡大にむけて、闘う方針を確立しよう!

〇九春闘・一時金闘争 をふりかえらる

昨秋の米国発金融危機を境に、経営者は全国空前の規模で派遣・請負・期間工の雇い止め(首切り)攻撃に出ました。

連合大手労組は、非正規労働者を「雇用の調整弁」とみなす経営側の論理をうと破れず、まさに〇九春闘は、「賃上げも雇用も」(連合方針)どころか、「会社」が敵しい時は、賃金カット・人員削減を「の券固気が一挙につくられたのです。



2009年度委員会で、各職場代表者が集まり、一年の地本運動を中間総括した。(8/10 地場産)

始まったばかりの 組織拡大の運動

地本は組織拡大を〇九春闘の柱に、県内キヤラバン、街宣、ポスティング、緊急労働相談を取り組みました。地域の団結づくりの最初の

攻撃を逆に団結強化に転じて頑張り抜きましよう! 高前号以降、ようやく羽咋自校、林ベニヤが解決。能中自校、北国製紙が現在も闘争中です。左上表参照

自治労との完全統合効果を発揮した 全国一般の組織強化・拡大を意思統一!

種井地本書記次長が事務局次長に就任

八月二十三日(二十四日、熊本県労働会館において、完全統合後初となる全国一般評議会第五回総会が開かれ、約百二十人が出席しました。地本から荒木地本委員長ら五名が参加しました。二日間の日程で、二〇一

〇年度の運動方針等の全議案が圧倒的多数の拍手で可決。また各地方労組から賃金未払い、専ら派遣や組合つぶし攻撃との闘い等の争議報告があり、全体で支援を確認し会場カンパも取り組まれました。

労働相談件数の内訳

(2008.11~2009.8)

| 相談内容 | 件数 |
|---------------|----|
| 不当解雇 | 11 |
| 雇い止め(有期雇用の場合) | 4 |
| 賃金カット・未払い | 9 |
| 配置転換(退職強要を含む) | 2 |
| 長時間労働・過労 | 1 |
| パワハラ(退職強要を含む) | 2 |
| 職場の閉鎖・倒産 | 4 |
| 労働組合づくり | 1 |
| その他 | 8 |
| 総数 | 42 |

※相談は複数内容に及ぶ場合が多いため、最も主要と思われる内容で分類。

職場の中から 運動を強化しよう

衆議院総選挙で自公政権

一歩です。(右表参照) 職場での奮闘も。林ベニヤ七尾の仲間が、工場に働く契約社員の組合員化を実現したり(二月)、大同テクノの仲間が、新たに裁判闘争(前号参照)を闘いながら同じ職場の日系ブラジル人派遣労働者に呼びかけ、派遣元に新たなツヤ技研分会結成を導きました(三月)。

職場の闘いを強化し、地域の労働者の連帯を広げる取り組みこそ、全国一般の運動の基本。地本運動前進の節目として、今大会を成功させましよう!

般評議会 第5回 定期総会

果を發揮した組織強化・拡大
同労組運動の新たな飛躍を勝ち取ろう!



全国一般の主体性強化を訴える大浦議長

中小非正規の組織化・権利闘争で活発に議論

総会2日目の運動方針案 (裏面へ続きます)

(裏面から続き)
をめぐるとの議論では、全国一般が自治労との完全統合効果を発揮し、地域の中小労働者の結束軸となるための課題について、討論が白熱しました。

公共民間の仲間との協力、労働相談からの未組織労働者の組織化、自治体の委託職場で公契約条例の制定に向けた活動、青年女性活動の工夫など、全国の先進的な取り組みや多くの共有課題が明らかとなりました。

大同テクノ闘争を報告

石川からは、大同テクノ分会が、親会社・大同工業の違法派遣・偽装請負を社会的に告発し、同社への直接雇用を求めた裁判闘争について報告。これが派遣労働者を代表する闘いであること、地本全体で勝利まで闘い抜く決意を述べ、あらためて全国の仲間からの支援を訴えました。また、会場からの争議支援カンパを石川も頂きました。

新役員体制を確立

こうした運動を進めるべく、〇一〇年度の役員体制も確立されました。大浦議長、亀崎事務局長をはじめ役員を再任されたほか、新たに種井地本書記次長が事務局次長に就任しました。また永年本部役員として重責を担った高原地本特別執行委員が副議長を退任し特別幹事を委嘱されました。

自民惨敗、民主圧勝で政権交代へ

職場・地域の闘いをさらに強化しよう！ 憲法改憲に反対し、平和運動を広げよう！

総選挙（八月十八日公示、三十日投票）は自民党は惨敗、民主党が三〇八議席獲得で圧勝し、この結果、政権交代が実現しました。

石川でも選挙区全ての推せん候補が当選。一区金沢では、激戦を勝ち抜き奥田候補が議席を回復。二区加賀の田中候補は元首相をあと一歩まで追い詰め、選挙区は僅差でかわされたものの比例で復活当選。全国有数の保守王国三区能登は近藤候補が接戦を制し、初の非自民の代議士誕生です。

比例では社民党を支持し、北信越ブロックでの議席獲得をめざしましたが、残念

ながら及びませんでした。暑い八月の選挙戦を頑張りぬいた組合員一人ひとりの奮闘に感謝します。

私たちは、生活・平和を破壊してきた小泉以後の自公政権をついに退陣に迫りやりました。しかし、新政権にゲタ預けはできません。特に平和問題では、民主党は日米軍事同盟を堅持しつつ、独自の安保外交政策を主張しています。国連の名の下であれば自衛隊の海外派兵や武力行使を認めるのが民主党主流の政策です。公約でも改憲論議をうたっています。

すでに新政権の人事、連



社民党総決起集会で、比例・北信越ブロックでの議席獲得を訴えた又市副党首（8/22 北陸会館）

- 立政権協議、新政策の発表が進んでいますが、ますます職場・地域からの闘い、組合の強化拡大が必要ですよ。
- 一区 奥田 建
 - 二五、六六七票 当選
 - 二区 田中美絵子
 - 二九、〇二二票 比例
 - 三区 近藤 和也
 - 一〇〇、八三三票 当選

八・四〇六 原水禁広島大会に参加して

花澤 尚巳（大同テクノ分会）

ヒロシマ。カタカナ表示だと重みが違ってくる。原爆を投下された都市。六十四年前にまさに地獄であった場所に立つ事は実は勇気が必要だった。これまで目を背けていた自分に気づく。

(…中略)

初日の大会前に原爆ドームと平和資料館に行く。ヒロシマに来たことを実感。平和資料館では様々な遺物や資料、写真があった。それらが無言で問いかける。それなりにしか書えていなかった自分にここで気づくことになった。碑文の「安らかに眠ってください」過ちは繰り返しませんから」という言葉にも何かを感じた。答えは未だ出せていないのだが。

(…中略) ヒロシマのご高齢の女性のお話は、実体験された言葉の重さ、痛さ、悲しさが直接的に突き刺さった。印象的なのが、彼女が命からがら重傷を負いながら家族を探しに実家に向かう途中で助けられなかった兵士に対して、今もお悔みしている事だ。その当時は彼女にそんな余力はもろろ無い。しかしその悔みはいつまでも、家族、友人を一時で失う事、被爆して苦しんで死んでいくものを見る事、自分にも降りかかるその恐怖。いったいこの一発でどれだけの人を苦しませ続けるのだろうか。まだ続いている事を実感した。

二日目。大久野島という所へ行く。(…中略) 毒ガス島。これが大久野島の別名。瀬戸内の地形を活かしたみことな要塞。その要塞跡は毒ガス島に小さく残っている。こんな綺麗な場所に十六年間も毒ガスを作り続けたのだ。毒ガスも許し難い兵器。日本もこのような物を作っていた。製造に関わった企業は今もある大企業ばかり。このガスは実際に中国で使用された。対米には使われなかった。毒ガスを使うと報復されるからという。中国に対して使った事実は受け止めなければならぬ。そうでなければ被爆したヒロシマ・ナガサキを語る時に欺瞞になってしまう。アメリカ人だから、中国人だから、日本人だから非人道的兵器を使用したのではなく人間だからだ。人間は極端な一面を持つていることを再認識した。そして現地の人たちの被害も知って驚いた。この工場で沢山の方が亡くなっている。そして後遺症に苦しんでいる人にも十分な保証もない。日本も十分に他国を傷つけ、自国民を殺している。

三日目。八月六日、朝八時十五分私はそこにいた。六十四年前に原爆が投下された場所に。市長のオハマ礼賛にはまだ閉口。首相の言葉は何も響かず。平和の鐘が鳴る。今までと違った意識を持っていて自分に気づく。怒りはもちろんあるのだが平和を希求する気持ちが一層強くなった。怒りや恨みの循環は向も生まない。しかし根底にはそのネガティブな気持ちらが覆さへっている。

平和を求める勇気を持ち続けるのは大変な事だ。しかし我々は次世代に語り継がなくてはならない。世界に発信し続けなければならない。決して正義のためなんて言わせないために。核もガスも罪のない人たちが殺す道員にすぎない。そこには正義なんてあってはならない。

ヒロシマは今も絶えず平和の炎をかかっている。私も生きていく限りのこの炎を心に抱けよう。



羽咋市議会議員選挙 浅野俊二さん再選

羽咋市議会議員選挙（八月二十三日公示、三十日投票）において、浅野俊二さんが再選されました（一〇七三票）。この間、羽咋自校闘争などでご指導ご支援いただいたありがとうございます。総選挙と同時に並行の大変な選挙戦でした。組合員みなさんのご協力に感謝します。